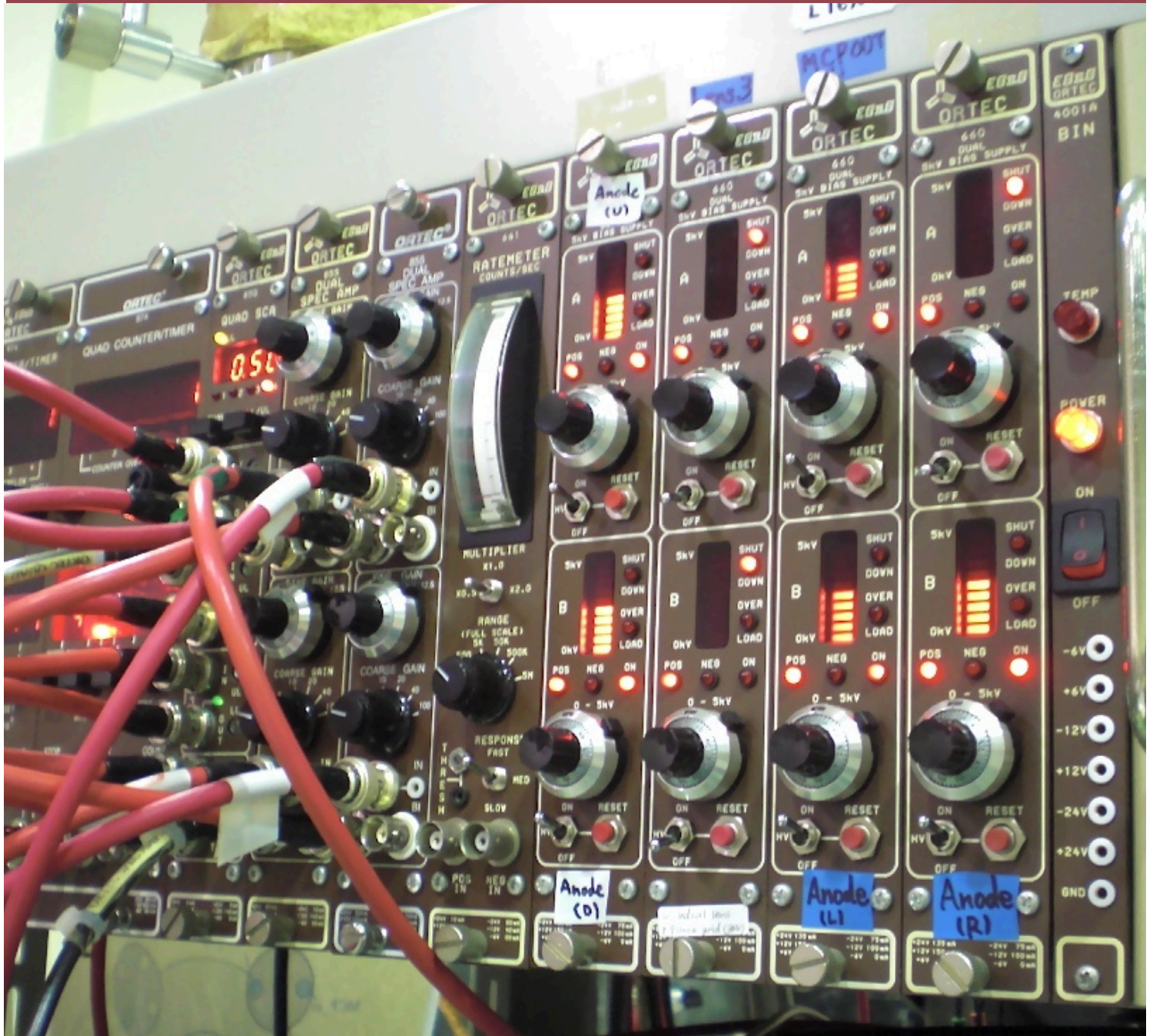


HB-style

2010年
6月号
Vol. 16



HB-style

Vol. 16 6月号

Bulk & Surface Spectroscopy

銅酸化物系の高温超伝導発現のメカニズム解明に挑む安斎太陽を紹介する。



ページ 2

教えて！中島先生！！

光物性研究室で絶大な存在感を示す中島先生。読者からの質問を容赦なくぶった切る。



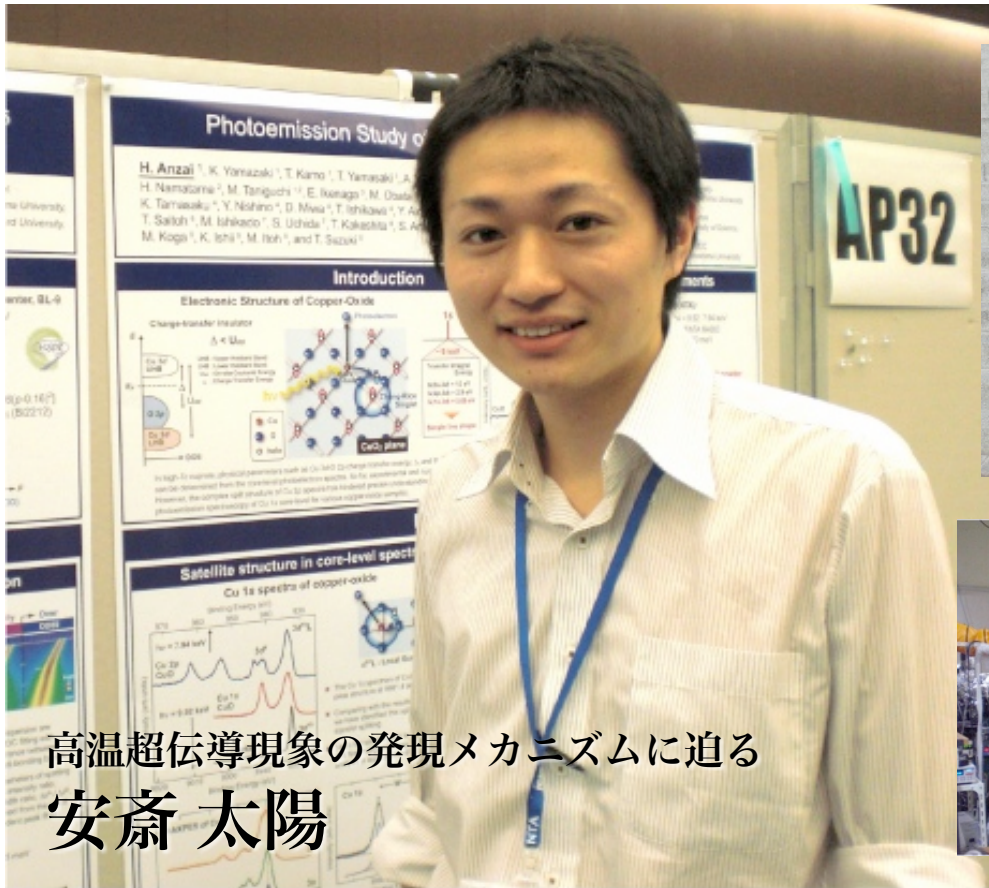
ページ 3

光物性研究室カレンダー

新4年生も研究室の雰囲気慣れに慣れてきた2010年6月。光物性研究室では、セミナーや実験などグループごとに活発な研究活動が行われた。

ページ 4

Bulk & Surface Spectroscopy

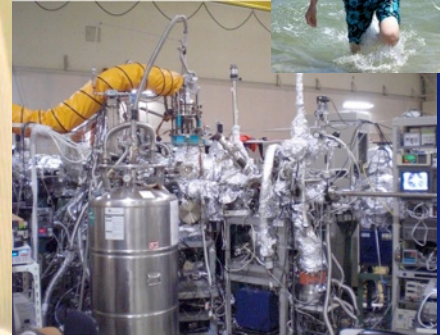


高温超伝導現象の発現メカニズムに迫る 安齋 太陽

継続は力なり

「継続は力なり」。子供の頃から幾度となく言い聞かされ、今も心に残っている。水泳や書道、少年団のソフトボール、部活動は進学に合わせてバスケットとテニスを3年続けた。そう、俺は飽きっぽい性格。努力が持続する期間がたった3年...。3年くらいやると自分に足りない所がはっきり見えてきて、この道で本当に大丈夫かと不安になる。これまで積み重ねてきた努力と経験は決して無駄ではないが、実用性がなく中途半端な技量は専門家に程遠いレベルである。

谷口教授との出会いは自分の人生を大きく変えた。当初は宇宙に憧れて物理学を専攻した。しかし、進級するにつれて触る事のできない宇宙よりも、金属などの身近な物質に興味を持った。決め手になったのは、谷口教授の開く固体物理学の授業。たまらなく面白かった。それに先生の気さくな性格と先端性のある研究内容に感動し、俺は決意した。谷口研で研究をするゾ、固体物理を極め専門家になるゾと。現在、高温超伝導体の研究を始めて6年が経った。まだまだ未熟者ではあるが、ようやく物理に対する手応えが掴めてきた。ほんと「継続は力なり」である。



仲間との出会い

研究に没頭するにつれて、研究室で一緒に過ごす同期との仲も深まっていった。研究に関する話はもちろん、たわいもない世間話から下ネタまで、学部生の時より親密になった。卒論の恐怖に追われていた時でも笑い合える安心感。提出と発表を終えた後の開放感と達成感はハイタッチものだった。苦楽をともに過ごした仲間とは自然体でいられる。俺たちは一緒。研究室では生涯の財産となる大切な親友を得た。

現在、同期2名は就職し、俺ともう一人の同期は研究の道を歩み出した。ときどき会っては近況を報告しバカ騒ぎをして遊んでいる。決して切れない結束がこの4人にはある。かけがえのない仲間、大切にしていきたい。



同期の仲間達

教えて！中島先生！！ (第1回)

光物性研究室で絶大な人気と存在感を誇る中島陽祐。世の中に渦巻く謎、疑問、矛盾点を熱いトークを武器にバッサバッサ切り落とす。

彼女が欲しいです。どうかして下さい。(イチキング)

イチキング様、お気持ち察します。私も彼女が欲しいです。研究室に閉じ籠っていても出会いはありませんので、理学部から飛び出しましょう。中央図書館に通じる階段を登って下さい。そこは、経済学部と法学部。女性の数がグッと増えて出会いのチャンスも急上昇です。さらに勇気をだしてサタケメモリアルホール前の階段を駆け登って下さい。そこは教育学部。男性：女性＝1：1の我々にとって夢のような空間。



気に入った女性がいたら物怖じせず食事に誘って下さい。女性の方のお支払いもイチキング様がまとめて払いましょう。もちろんミールカードで♪女性の気持ちを驚掴みにする瞬間です。常に女性に対して最高のおもてなしをすることをお忘れなく。女性も劈開も一期一会ですから。

D202 と D203 の壁を取り払い大部屋にしましょう。(SUN)

とてもいいアイデアですね。D202 と 203 の壁を取り払うと開放的で雰囲気も変わり研究がはかどるかもしれません。しかし、我々学生だけでは決めかねる行為ですので、先生方にご報告して、検討していただけるよう尽力していきましょう。私的には、I先生がハンマーを取り



出し、GTO ばりに壁を破壊してくれることを期待しています。しかし、K先生は量子力学の観点から人間も障壁をトンネルする確率はゼロではない、などと知的な回答をしてくれるかもしれませんね。T先生にいたってはポケットマネーを取り出しこれで...。これ以上は止めておきましょう(苦笑)。



非常勤講師
中島陽祐

光物性研究室 7～9月のスケジュール

2010年6月 光物性研究室カレンダー

07.11 (日) ~ 16 (金) 国際学会 VUVX2010

真空紫外光やX線領域の光源を用いた電子状態研究がメインピック。カナダのバンクーバーで開催される。

VUVX2010 : <http://www.vuvx2010.ca/>

07.31 (土) ~ 08.01 (日) ゼミ合宿

今年の光物性研究室ゼミ合宿は島根県で開催され、4年生による英語での論文紹介が行われる。

08.29 (日) ~ 08.30 (月) 日韓学生 Workshop

釜山大学と広島大学の学生交流を目的としたワークショップが東広島市で開催される。

08.31 (火) VUVX2010 Proceedings の締切

VUVX2010 参加者による議事録 (Proceedings) の締切が 8/31 にある。仕様等の詳細は下記サイトを参考に。

<http://www.vuvx2010.ca/showcontent.aspx?MenuID=445>

09.23 (木) ~ 09.26 (日) 2010 年秋季大会

日本物理学会の主催による 2010 年秋季大会が大阪府立大学で開催される。

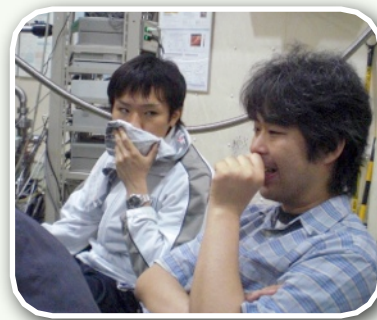
秋季大会 (2010 年) : <http://www.soc.nii.ac.jp/jps/jps/bbs/meetings.html>

05.31 (月) ~ 06.11 (金) 教育実習

5月31日から2週間、教育職員免許取得を希望する学生に対する教育実習が行われた。光物性研究室の市来健吾と福井雅一は、大学入学当初から取り組んできた教員免許取得プログラムの集大成となる教育実習を広島大学附属福山中学・高等学校にて行った。指導案や板書計画の作成、実験での発問と思考計画を幾度となく推敲し授業に挑んだ。授業後には、他の実習者との比較を通じて授業内容の向上に取り組んだ。四苦八苦しながらも教職における使命感と実践的能力を養った。

06.15 (火) ~ 18 (金) Ino グループの実験

6月15日から18日までの4日間、井野明洋助教を中心とした研究グループが広島大学放射光科学研究センター (HiSOR) BL-1 にて実験を行った。中島陽祐の物理に対する熱い思いが通じ、良面の劈開面が得られた。途中、トラブルに見舞われたが、井野助教との意見交換から問題を解決し、満足のいく結果を得た。



編集部からのお知らせ

スタッフ募集

HB-style 企画・編集に参加していただける方を募集しています。

企画の募集

取り上げてほしい企画やテーマを募集しています。気軽にお寄せください。

今後の企画について

「理学部 D 棟」、「HiSOR II 計画の現状」、「Igor」、「教えて！中島先生!!」、「光物性 OB / OG に聞きました」、「VUVX 2010 に密着」などのトピックを考えています。

発行予定について

毎月の発行を予定していますが、作者の都合により遅延、または休

刊となる場合があります。ご了承ください。

企画・編集 : 安齋太陽 (写真中)
編集協力 : 古本一仁 (右)、黒田健太 (左)

